

令和5年12月1日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」  
第83回（通算第162回）定例会 会議録

◆日時：令和5年11月21日（火） PM7：05～8：35  
◆場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室  
◆出席者： 22名 + オンライン3名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：05～20：35】

19：05～	開 会
19：05～19：10	情報提供 循環器病県民公開講座 12/16（土） 14：00～ ビッグU 研修室1
19：10～19：20	わたしのしごとをしってください 「訪問看護ステーションピースフルたなべ」
19：20～19：50	講 義 「虐待防止 ～紀南病院での取り組み～」 講師：紀南病院 地域医療連携室 社会福祉士 長井 智子 氏
19：50～20：20	意見交換
20：20～20：35	発 表
20：35	閉 会

## 【講義内容】

### ●紀南病院のとりくみ

- ・平成 23 年、児童虐待・高齢者虐待・DV・障害者虐待への迅速な対応及び組織的な対応を行うため、院内に虐待防止委員会を設置し、平成 24 年委虐待防止対応マニュアルを作成した。
- ・メンバー：病院長、小児科部長、看護部副部長、小児科病棟看護師長、外来担当主任看護師、事務局長、医療安全管理室、臨床心理士、社会福祉士、＋外部委員
  - ※外部委員：【児童】紀南児童相談所担当者・【高齢者】田辺市地域包括支援センター担当者・【DV】西牟婁振興局保健福祉課担当者・【障害者】田辺市障害福祉室担当者
- ・対応内容：児童（79%）・DV（12%）・高齢者（7%）・障害者（2%）  
虐待種別：身体的虐待（61%）・ネグレクト（33%）心理的虐待（5%）・性的虐待（1%）
- ・虐待が疑われる患者を発見した場合、虐待防止マニュアルに沿った対応を行う。虐待疑いで通告を受けた関係機関からの受診依頼があった場合、外来診療時間外になることが多いため、診療がスムーズに行うよう調整。病院内外の連絡・相談窓口を一本化し、地域医療連携室の MSW が対応
- ・虐待防止のためにできること
  - 気づく**：法律に規定された「虐待の通告義務による早期発見」に対して、病院の役割を果たす  
「気になる親子」への気づき
  - 寄り添う**：妊娠・出産・育児期から介護期まで孤立しないよう寄り添った支援
  - つなぐ**：地域で利用できるサービス等の情報を伝え、地域の支援機関につなげる

## 【意見交換】

### ●報告を聞いて、感じること

- ・介護サービスは契約ありき。ないと立ち入れない部分がある
- ・いろんなサービスの公費負担がなくなると、医療離れになるリスクがあり、それにより発見できなくなる可能性がある
- ・家族等が治療を継続させないのも虐待ではないかと思う。
- ・虐待に対して施設で閉鎖的などところもある。人が少ないもの課題。
- ・認知症の人の事実確認がむずかしい
- ・経済的な虐待は身近にある
- ・傷害事件になることもあり、身内でも警察沙汰になることがある。
- ・悪気のないネグレクト。SOS がだせない。どうしていいのかわからない。
  - サービスが入るまでどうしていいのかわからない。
  - 知識不足から起こっているように思う
- ・多問題のケースはどうかかわるのか。支援者側でのジレンマがある。
- ・介護サービスが入るようになって虐待は減ったように思う
- ・精神障害者のケースではお互いにストレスに・
- ・定期検診を知らない妊婦もいる。
- ・施設での虐待は発見しにくい。家に帰りたくて“施設で虐待された”と言われたケースがあった。
- ・親の顔色をうかがっている児のケースにかかわったことがある。親へのかかわりも必須
- ・長いスパンで余裕をもったかかわりを。
- ・誰に相談していいのか
- ・傾聴が重要。支援者のストレス解消が大切
- ・虐待認定がむずかしい。単独で判断しないことが重要
- ・虐待の通報窓口の周知。気になるケースはやはり通報を！
- ・病院だから気づけることがあるという事実から、連携が大切であることを再確認できた。きちんとつなぐこと！

⇒「気づく」「通報」「知識不足解消など適切な対応」「傾聴とストレス解消」「連携」

※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と必要に応じて非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒・換気
- ・ZOOMを活用したオンライン研修

## 【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

**日時**：令和5年12月19日（火） 午後7時～

**場所**：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

**内容**：未定